

# 令和4年度 施政方針

(要旨)

## はじめに

新たな総合基本計画に掲げる将来都市像「水と緑が育むふるさと昭島」の実現と、多様性を認め合える地域社会の形成を目指し、魅力ある楽しい昭島市の未来に向け、持てる力の全てを傾注してまいります。

また、本市が「非核平和都市」を宣言した昭和57年から40年の節目を迎えます。改めて悲惨な戦争を忘れてはならないと、繰り返し訴えたい。源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

# 令和4年度 教育施策推進の 基本的考え方

(要旨)

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

引き続き、皆様の健康と生活を守ることを第一にしなが、必要な支援に努めます。併せて、ワクチンについても、安全・安心な接種体制の確保を念頭に、希望する方が速やかに接種できるように注力していきます。

「環境との共生」をまちづくりの理念に掲げる本市では、2030年カーボンハーフの実現に向け、新たな環境基本計画に基づき、市を挙げて取り組んでいきます。その第一歩として、ゼロカーボンシティへの表明などを早期に実施します。デジタル技術による業務の効率化で生まれる人的資源を、市民サービスの向上につなげます。そして、デジタル化に不安を抱いている方に寄り添い、デジタル

## 令和4年度 会計別予算額及び議決結果

区分	予算額	前年度比	議決結果	
一般会計	462億400万円	7.1%増	原案可決(賛成多数)	
特別会計	国民健康保険	122億3300万円	2.3%増	原案可決(全会一致)
	介護保険	103億4691万9千円	3.0%増	原案可決(全会一致)
	後期高齢者医療	27億7826万7千円	6.8%増	原案可決(賛成多数)
	中神土地区画整理事業	6億5900万3千円	47.6%増	原案可決(全会一致)

水道事業会計	適用科目	収入		支出	
		予算額	前年度比	予算額	前年度比
	収益的収入及び支出	19億3074万円	2.1%増	17億2453万5千円	11.1%増
	資本的収入及び支出	974万9千円	21.1%増	10億3741万5千円	30.2%減
	議決結果	原案可決(全会一致)			

下水道事業会計	適用科目	収入		支出	
		予算額	前年度比	予算額	前年度比
	収益的収入及び支出	24億8381万1千円	6.9%減	23億232万1千円	4.5%減
	資本的収入及び支出	5億8255万9千円	14.6%増	13億5740万円	16.5%増
	議決結果	原案可決(全会一致)			

### ご利用ください 声の市議会だより 点字市議会だより

目の不自由な方に、市議会の活動をよりよく知っていただくため、声の市議会だより・点字市議会だよりを発行しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

電話 042-544-4476(直通)

### 会議録をホームページ で閲覧できます

会議録検索システムにより、平成7年5月から令和4年1月14日までの本会議会議録、委員会記録、協議会記録をご覧になれます。

なお、第1回定例会の記録は5月下旬に更新する予定です。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

### 令和4年度予算の補正状況

#### 一般会計(第1号)

当初予算	462億400万円
今回補正額	5560万円
予算総額	462億5960万円

### 令和3年度予算の補正状況

#### 一般会計(第9・10号)

当初予算	431億4500万円
前回までの補正額	56億6930万円
専決補正額(第9号)	26億1400万円
今回補正額(第10号)	13億5500万円
予算総額	527億8330万円

#### 中神土地区画整理事業特別会計(第2号)

当初予算	4億4650万3千円
前回補正額	302万5千円
今回補正額(減額)	7400万円
予算総額	3億7552万8千円



### 賛成

自由民主党昭島市議団  
小林 こうじ 議員

「人間尊重」と「環境との共生」を普遍的なまちづくりの理念として継承し、将来都市像「水と緑が育むふるさと昭島」の実現に向けた、新たな時代要請にも対応した施策の大綱を位置付けている。課題となっている地域コミュニティの活性化を本構想に賛成する。

### 令和4年度当初予算を可決とする 委員長報告について

### 一般会計

### 反対

日本共産党昭島市議団  
佐藤 文字 議員

新型コロナウイルス対策における市独自の検査体制が皆無であり、市民への検査費用助成も困難としている。重層的に社会的検査を対策の柱に捉えるべき。市の公衆衛生に関わる主

5面下段へ続く

## 討 論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

### 昭島市基本構想を可決とする委員 長報告について

### 反対

日本共産党昭島市議団  
奥村 博 議員

基本構想を10年としていくが、自然環境を大切にすることが求められる。格差と貧困問題、ジェンダー問題の施策が際立つていない。さらに、米軍横田基地による航空機騒音の負担軽減などの対策の強化が求められる。命と暮らしを守るためには、公助を厚くすべきであり、本基本構想に反対する。